



【会長の挨拶】



押上一丁目仲町会
町会長高橋邦夫

町内の皆様におかれましては、平素より町会運営につきご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。早いもので二十二年度末を迎え役員の方々も総会の準備でお忙しい事と思

います。平成二十二年度はメキシコ湾の石油流出事故、宮崎県での口蹄疫の問題、エジプト政権の崩壊から始まる中東諸国の政権交代が続く、日本においては三月十一日の世界中を驚かせた東日本大震災による大地震、大津波で数万人の方々がこの犠牲になつています。併せて原子力発電所の事故では先進国からの援助を受けつつもまだ解決を見ずに見えぬ恐怖におびえた多くの方々が避難生活を送っております。

地震速報によって震源地が東北からひたひたと東京に近づく事を知り携帯音が聞こえる度に私達はその恐怖感が増して来る事を体験しました。私事ですが東松島と石巻の私の親戚も今回の災害に遭遇いたしました。

この三月に開催された役員会において東日本大震災に遭遇された方々の為に当町会からも纏めて義援金をお送りしたいとの総意が得られましたので、墨田区役所を通じてお届けする事といたしました。後日、当町

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第四十八号

平成二十三年三月三十一日

会の皆様には地区部長さんにご協力をお願いいたしますので宜しくお願ひ申し上げます。

今年三月に待望のスカイツリーも目標（六百三十四メートル）の高さに到達し世界一となりました。私達の地域も交通の量も多くなり、桜の開花とともに活気づいて来ましたが、交通安全には十分注意してお過ごしください。

さて、今年度は役員改選の年に当たりますが、新しい役員のもと皆様には町会の事業に対してより一層のご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに皆様のますますのご繁栄とご健勝をお祈りするとともに、平成二十三年度が素晴らしい一年になりますよう心からご祈念いたします。

【総務部】

大橋由明

平成二十二年度も最後になりましたが、町会内の皆様には大変お世話になり、特に地区部長には「回覧」等で、ご多忙の折、毎日の如くお願いし大変申し訳なく思いました。ご協力を頂き深く感謝を申し上げます。来年度からは町会役員改選に当たり新しい地区部長と改選される地区では「回覧板」「町会費の徴収」等の伝達と継承を宜しくお願い申し上げます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

【婦人会】

日頃より、婦人会の活動にご理解を頂きありがとうございます。

この度の東日本大震災は、いかがだったでしょうか？被災された皆様に、お見舞いを申し上げます。五月にも、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、春に予定していましたがバス旅行ですが、今の社会情勢が落ち着くまで見合わせていただきたいと思ひますがいかがでしょうか？

こんな時だからこそ、皆で助け合い・励まし合い・いつも笑顔の「母」でありたい。先日の読売新聞の寸評に「大地よ、鎮まれ」と掲載されてありました。私達も大きな声で叫びたいものです。

この一年、健康で元気に仲良く、町会を盛り上げてまいりたいと思ひますので、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

【O S T】

一月に入り気温がぐんと下がって寒い寒い冬になりました。三月の末というのに未だ未だ寒い日が続いています。冬は大した行事もなく墨老連の新年会に数名参加しました。

東日本大地震、津波、又原発の事故。災害に遭った皆様、本当に大変だと思ひます。頑張ってください。

三月二十七日（日）二十二年度最後の誕生日会一月、二月生まれの方をしました。寒いのにお花はもう春。きれいなお花の勢揃いでお誕生日の方々は、とても喜んでおられました。又、六月には墨老連の演芸大会があります。昨年

は、氷川きよしの歌で若返りました。今年もなつかしい昭和の歌等と考えています。毎年、曳舟文化センターでします。その時は、皆様是非見に来て下さい。昭和の歌で皆さん若返りましょう。五月には町会と一緒にクリーンキャンペーンがあります。町内をきれいにしましょう。スカイツリーも六三四に達しました。押上も活気のある町になると思ひます。元気で一日一日過ごしましょう。

【しらとり子供会】

この度の震災により、被害に遭われた方にお見舞いを申し上げます。町会の皆様は大丈夫でしたでしょうか。業平小学校では毎月の訓練のおかげで、混乱も無く校庭への避難ができたよう、保護者が引き取りに来るまで、先生方と落ち着いて待つていました。帰って保護者の方がどうしたら良いかわからずに、あわててしまったようです。日頃からいざと言う時の心構えが大事だと、あらためて感じました。

早いもので、私が子供会会長を務めましてから一年が過ぎようとしています。ひとえに町会の皆様、OSTの皆様、そして婦人会の皆様にお助けられてやってこられたと思ひます。ありがとうございます。

来年度も二世帯三名での活動となります。児童、保護者共に少なく、小学校の連合子供会行事等のお手伝いもままならない状態ですが、地域と学校をつなぐ子供会でもありますので、できる範囲での活動を続けて行こうと思ひます。引き続き皆様のご理解、ご協力をいただけましたら幸いです。

【東日本大震災の義援金のお願い】

このたびの東日本大震災被災者のために、当町会でも義援金の募金受付を致します。尚、集まった義援金は墨田区が取りまとめ届けることになっております。

内容は次のとおりです。

※ 一口 千円 として何口でも結構です。

※ 回覧で申込書を配布します。で、募金口数、金額、氏名をご記入の上、義援金と共に各地区部長さんにお申込ください。

※ 平成二十三年四月十六日（土）午後五時までにお願ひ致します。

【二七訪問者にご注意を】

この度の東日本大震災を口実に電力会社、役所等をかたって戸別訪問で義援金の話、修理、電気点検、ガス、水道等の話で戸別訪問を行っているようです。こちらから依頼していない場合は断って下さい。尚、電力会社、ガス、水道、役所の人は本人証明書を携帯しております。

不審に思ったら 本所警察署

電話 03-3634-0110



白木蓮

【秩父札所めぐり(7)】

石田輝雄

梅雨の季節だが、中休みの時間を
利用して、又札所めぐりに出かける
事にした。

今回は二十八番寺から三十番寺迄
お参りの予定だが遠方の三十番寺か
らとしよう。天気はすばらしい。今
度も池袋から三峰口行の西武電車の
急行に乗る予定だから。押上を少し
遅らせて七時三十八分発で出かけ
る。東日本橋で下車して、都営新宿
線の馬喰横山へ歩くのだが東日本橋
の地下道は何とも狭いので、特に朝
夕のラッシュ時の歩行は大変だ。

西武池袋五番線ホームで三峰口行
の急行電車を待つ。前の時は八輛連
結だったが今回は十輛連結だ。前回
は途中から中学生の団が乗り込ん
だのでとても賑やかだった。八時
三十六分発車。江古田附近から中村
橋近くまで、目下高架線の工事が行
われている。より便利になるのであ
ろう。

石神井公園、ひばりが丘に停車。
九時四分所沢に到着する。所沢から
は各駅停車となる。小手指で前二輛
が切り離されたのは、前回と同じだ。
此の間三分間の停車。車内はすいて
いるので靴を脱いで足を伸ばす。飯能
を過ぎると窓外の景色も変つてく
る。空気が澄んでくる様だ。

東飯能の右側の路線、八高線だ。
此のあたりでは平行している。正
丸のトンネル通過は大体だが四分位
か。横瀬に着く。ここで前四輛が寄
居行。後四輛が三峰口行となる。

寄居行の電車がそのまま直進す
る。三峰口行の電車は少し直進して
からポイント右方向に走り西武秩父
の終点となる。従って此処から逆行
となり三峰口に向って走る事になる

訳だ。西武秩父には、十時三十四分
着として十時二十八分発車。今日は、
三十番寺に近い白久で下車する。終
点三峰口より一つ手前の駅だ。

駅舎左へ出る。ちよつとした広場
で左右に自動販売機等置かれてい
るが、それにしても全く静かな町だ。
駅員にいろいろ聞いてみる。仲々親
切。三十番札所迄十五分位だし、今
度の上り電車は、十一時四十七分だ
から十分間に会いますよとの事。白
久下車が十時四十八分だから、ゆつ
くりお参りが出来る。

キャンプ場等の看板が目に入る。
そのまま坂道を登って行く。赤い屋
根が見えてきた。前に谷津川渓水場
の建物そこを右に歩く。石段をのぼ
ると庫裡。本堂は一段高い所にある。
十一時五分到着。本堂は五間四面の
江戸初期の建物とか、廻廊がつけら
れてある。元和元年(一三二九年)
建長寺の道隠禅師が唐より奉持した
と伝えられる本尊如意輪観世音菩薩
は唐の玄宗皇帝が愛する揚貴秘妃観
音と呼ぶとの事。境内には、池もあ
り鯉がたくさん泳いでいた。又つづ
じの頃は、境内は花でうづまるとか。

三十番札所(臨濟宗) 端竜山法雲
寺。御本尊如意輪観世菩薩。お参り
をすませ、白久の駅迄Uターン。電
車が来る迄、少々休憩しよう。狭い
待合室だが誰もいない。冷蔵庫で冷
やしてきた麦茶、凍っていたのが少
しとけて冷たくておいしい。駅舎の
壁に張り紙があり、「車でお越しの
方は、トイレ使用は入場券をお求め
下さい。 駅長」とあった。考えて
みると、車で来た人が大勢勝手に使
用したのでは正直たまったものでは
あるまい。

十一時四十七分白久を発車。二つ
目の駅。武州中川十一時五十五分着
下車する。一寸きれいな駅舎。左へ

出る。すぐ国道一四〇号線に出た。
右折する。右折して秩父鉄道の無人
踏切を渡り、道なりに左の方向に進
む。しばらく歩き、道標に従って小
道を右に入り進む。しばらく歩くと
前方に鳥居が見えた。

一の鳥居、二の鳥居。仲々由緒あ
る杜の様だ。若獅子神社である。祭
神は神日本磐余彦尊とあった。拍手
をうち、石投を登り、おまいりした。
道を少し左に戻り道標の通り右へ進
む。やがて若葉のしだれ桜が沢山見
えてきた。特に左側の囲いの中にあ
る一本は埼玉県指定の天然記念物の
しだれ桜であり、五百数十年前に植
えられたもので開花時はすばらしい
との事。

奥に寺がある。清雲寺(札所では
ない) 国道百四十号線に戻らず、道
標に従って、今来た道をそのまま進
み、つき当たって右へ歩く。橋が見
えてきたが、そこからは一般車通行
止めと記してある。目下浦山川を堰
止めての浦山ダムを建設されつつあ
る由。二年後あたりに完成とか。通
行止となつている右側に道標小道を
右に行く。

二十九番寺が見えてきた。十二時
五十分の到着。境内も広い。竹林
に囲まれた本堂は、間口七門奥行
五、五門のどっしりとした建物。今
迄に何回も火災にあったとか。文
政(一八一八〜一八二九年)の頃建て
られたのが現在の本堂であるとの
事。縁起によると、元正天皇の頃、
山麓の淵から龍女現れて、毎夜不思
議な灯をとますので、村人達は怪し
んだ所。十数人の巡礼僧が現れ村人
に案内させ小笹の茂る岩屋を押し開
いて見ると、そこに聖観音像が祀つ
てあった。僧達は、此処に堂を建設
して、像を安置したのがこの寺の始
まりとの由。堂内の天井や欄間にい

ろいろな納札が数多く貼られてある。
又本堂の正面、欄間には葛飾北斎の
桜図の額があがつていた。

二十九番札所(曹洞宗) 笹戸山長
泉院。御本尊は、聖観世音菩薩、お
参りは済んだ。さて、昼はとうに過
ぎている。腹の虫も泣いている。境
内には広いし、長椅子もある。竹林
を渡る風も涼しい。この境内で昼食
とさせて頂こう。水を頂き携帯コン
口で湯を沸かしインスタント味噌汁
とおむすび。お茶のみ、札を述べ、
十三時四十分出発する。

国道一四〇号線に出る。右折してし
ばらく進んだ信号の所を左折すると、
前に渡った久那大橋だ。常磐橋を渡
る。右の小道を上れば、浦山口駅だ
がそのまま進み右折してガードをく
ぐる。道進する。登り道だ。左側に
湧き水。飲んでみる。冷たくておい
しい。それにしても有名な鐘乳洞の
ある二十八番札所なのに道標が全然
見当たらない。仕方がないので駅迄
戻り、駅員さんに尋ねてみた。道標
を市として建てたいのだが、地主が
OKしてくれないので建てる事が出
来ないとの事。今日は諦め、次回に
する事にした。

駅舎前のベンチにかけて休憩。鶯
のさえずりが盛んに聞こえる。やは
り山間なのだ実感する。他に客も
いない。駅員さんが清雲寺のしだれ

桜は、四月十日頃がよいとの事。浦山
口駅の桜もその頃、満開との由。桜の
頃いらして下さいとの事。札をのべ、
電車に乗り花畑で乗り換え、帰途に着
く。万歩計を見ると一万八千九百三十
歩とあった。

【編集後記】

思いもしなかった東日本大震災で、東
日本は大きな影響を受けている。東京に
住んでいるから他人事ではない。将来の
関東大震災を想像すると恐ろしい限り
だ。まず最初に当てるには町会組織
だろう。町会が最低限してくれる対応策
を知らせる事が、早急に必要である。当
分は町会が検討したり、告知する用事が
増えそうだ。

ところで、東京スカイツリーの高さが
大震災の直後に634mに達したが、時
期が時期だけに地味に報道された。本来
ならマスコミも大きく取り上げた事だ
ろうが、とても残念だ。しかし、地震の
影響を受けず工事は順調のようで、一安
心だ。もしも押上方向に倒れたら、我が
家は第二展望台の直撃で潰れるはずだか
ら。

花冷えという言葉があるが、今年桜
の開花も遅れ気味で春の楽しみに乏しい
が、四ツ目通りの白木蓮は咲き揃った。
ささやかな楽しみを見つけた工夫をし
て、しばらく続く大変な時期を乗り切り
たいものだ。



東京スカイツリーが634mになりました。